

# 令和4年度北薩地区フレッシュ研修（初任校研修）【他校種参観Ⅰ】

令和4年10月7日（金）

1 目的	特別支援学校の授業や諸教育活動の参観及び指導講話等を通して、特別支援教育への理解を深めるとともに、特別な支援を必要とする児童生徒への指導への指導力の向上を図る。
2 会場	鹿児島県立出水養護学校
3 出席者	小学校、義務教育学校（前期課程）教諭 34 人、中学校教諭 14 人、高等学校教諭 5 人
4 内容	<p>(1) 開会行事 開会の挨拶：指導課長</p> <p>(2) 校長講話「学校の概要説明及び特別支援教育について」奥 政治 校長</p> <p>(3) 研究協議〔意見交換等〕（校種別） 小学部アドバイザー：日高 正人 教頭 中学部アドバイザー：迫 直美 教頭 高等部アドバイザー：高等部主事 中園 一美 教諭</p> <p>(4) 指導助言（指導主事）</p> <p>(5) 施設参観（グループ別）</p> <p>(6) 閉会行事 代表挨拶：石丸 寧々（薩摩川内市立平佐西小） 閉会の挨拶：指導主事</p>
5 様子	  
6 初任者振り返り	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 合理的配慮と基礎的環境整備の言葉の違いを学んだ。</li><li>・ ユニバーサルデザインを意識した授業づくりや環境づくりが重要であることを再認識した。</li><li>・ 「できないということは、伸びしろがあるということ。」が心に残った。</li><li>・ 「個別に支援をする前に、どの子供も学習へ集中しやすいよう工夫すべき。」が印象的だった。</li><li>・ 「学び方と教え方のミスマッチこそ、児童生徒の学習に対する困難さを感じる一因となる。」という言葉が心に残った。</li><li>・ 教師の特性、自分を見つめることも大事だと知った。</li><li>・ 普段は外からの様子を見ていて、生徒は何人くらいで、どのような造りになっているのだろうと思っていたので、実際に話を聞き、施設見学をさせていただいて疑問が解けた。</li><li>・ 生徒の実態（得意なこと・不得意なこと）をしっかりと把握し、切れ目ない支援のために、個別の指導計画、支援計画を作成し、進路の実現や家庭との連携を図っていきたい。</li></ul>